

駅家北小学校の校内マラソン大会をはじめて見ました。

あなどるなかれ、それはかなりの感動ものでした。コロナ禍の今、様々な行事やイベントが中止や自粛を余儀なくされるなか、感染予防とサポートに万全の注意を払い開催してくれた先生方と学校関係者の方々には改めて労をねぎらうと共に感謝を申しあげます。

駅家東っ子も服部っ子も皆、元気はつらつそのものでもでした。本当によく頑張りました。

シューズが脱げるアクシデントにひるまずそのまま走る子。ゴール直前のデッドヒートでの転倒にもめげず、すぐ起き上がりゴールを目指す子。全力を出し切り食らいつくように最後にゴールする子。またその子に向けて大声援を送るクラスの仲間たち。思わずこちらも胸を熱くし応援にも力が入りました。走るのが得意な子また苦手な子も、きつといたことでしょう。しかし、それも全部個性というもの、そこには一人ひとりのたくさん小さなドラマが詰まっているように見えて感動すら覚えました。

人生に置き換えても、順位はどうあれ自分なりの目標を立て、それに向かってあせらず、着実に完走を目指す大切さを子どもたちは勿論のこと、大人の私たちも改めて学ばせてもらいました。

今、コロナは第三波の感染拡大の真ただ中にあります。コロナとの戦いは持久戦です。マラソンのようなものかもしれません。何もかも内向きになりそうな先の見えない毎日ですが、子どもたちの頑張りでしばし心も洗われ、大きな免疫力をもらったような清々しい気分にしてくれたマラソン大会でした。

全員の完走を見届けたグラウンドはすっかり初冬の風情ですが、まだその余韻を残しつつ、さわやかな風が吹いております。

来年こそは良き年でありますように。